

プロジェクト名	御嵩町森林経営信託によるクレジット創出事業	
プロジェクト実施場所	岐阜県御嵩町	
認証対象期間	2013/4/1～2021/3/31	

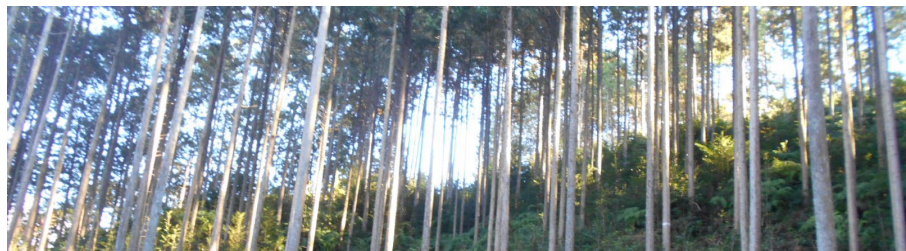
吸収見込み量	発行済みクレジット量	販売可能量
1,993t-CO ₂	1,934t-CO ₂ (令和4年10月末現在)	1,875t-CO ₂ (令和4年10月末現在)

プロジェクト概要

環境モデル都市と 全国2例目の森林経営信託

御嵩町は、**全国2例目となる森林経営信託方式**を活用した森林整備などが着目され、平成25年に内閣府から**環境モデル都市の指定**を受けています。

森林経営信託方式とは、町有林の所有権を森林組合に移転し、複数年にわたる森林経営を信託方式で実施する手法です。御嵩町は、この手法を通じて、**持続可能な森林経営モデルの確立**を目指しています。



植林した先人たちの思いに応え 目に見える形でCO₂を固定

60年以上前、決して楽ではない時代に、次の世代のために植林してくれた先人たちがいます。その先人たちの思いに応えるため、**町産材100%の木造新庁舎建設**を目指しています。

森林経営信託方式の森林整備でクレジットを創出したエリアの樹木も、木造新庁舎の部材として使用されるため、**吸収したCO₂は、目に見える木造新庁舎のなかに固定され、今後数十年に渡り、大気中に放出されることはありません。**

